

■ 表2. 外来標準型森田療法と入院森田療法との比較

	外来標準型森田療法	入院森田療法(高良興生院)
治療の場の構造	外来 個人療法	入院 集団療法+個人療法
治療の時間的構造	① 治療前期 (治療導入と課題設定・行動) ② 治療中期 (森田療法的対話) ③ 治療後期 (治療終結と治療効果の評価)	① 絶対臥褥期 ② 軽作業期 ③ 重作業期 ④ 生活訓練期
平均治療期間	89.6 日間 (平均治療回数 7.8 回)	57.3 日間
改善率	85.0%	87.1%
治療原理	<<共通>> ① 症状による回避行動を止めさせることにより、 現実の不安体験を通して症状から解放される。(治療的危機) ② 症状以外の部分での治療。日常生活の中で、 人間性の事実や外の世界との関わりを育む。(森田療法的対話、「愛と知」) ③ 治療関係の終結により、 精神療法的関係を普通の対人関係にもどす。〔森田〕を忘れる)	
治療目標	<<共通>> 本人が自分でとらわれの悪循環から抜けられるようになること。	